

一年生になろう。

Q 生涯学習って何？

A それは、生涯にわたってあなたを輝かせるレッスンです。

学校で学ぶことだけが、学習ではありません。だれもが、いつでも、どこでも、自ら学び続けるものだという考えから生まれたのが「生涯学習」です。

もっといろいろなことを知り、もっと多くの人と出会い、家庭や地域社会の中でイキイキとした生活を送りたいために何かを学ぶ。どんなことを学ぶかは個々人の年齢や生活の場、趣味や関心などによってさまざまです。しかし、多くのことを知り、自分を高め、より人間的に成長し、人生を豊かにするという目標は一つです。この目標達成の自らの学習が「生涯学習」です。



Q なぜ生涯学習なの？

A それは、もっとももっと楽しく豊かに生きてもらいたいからです。

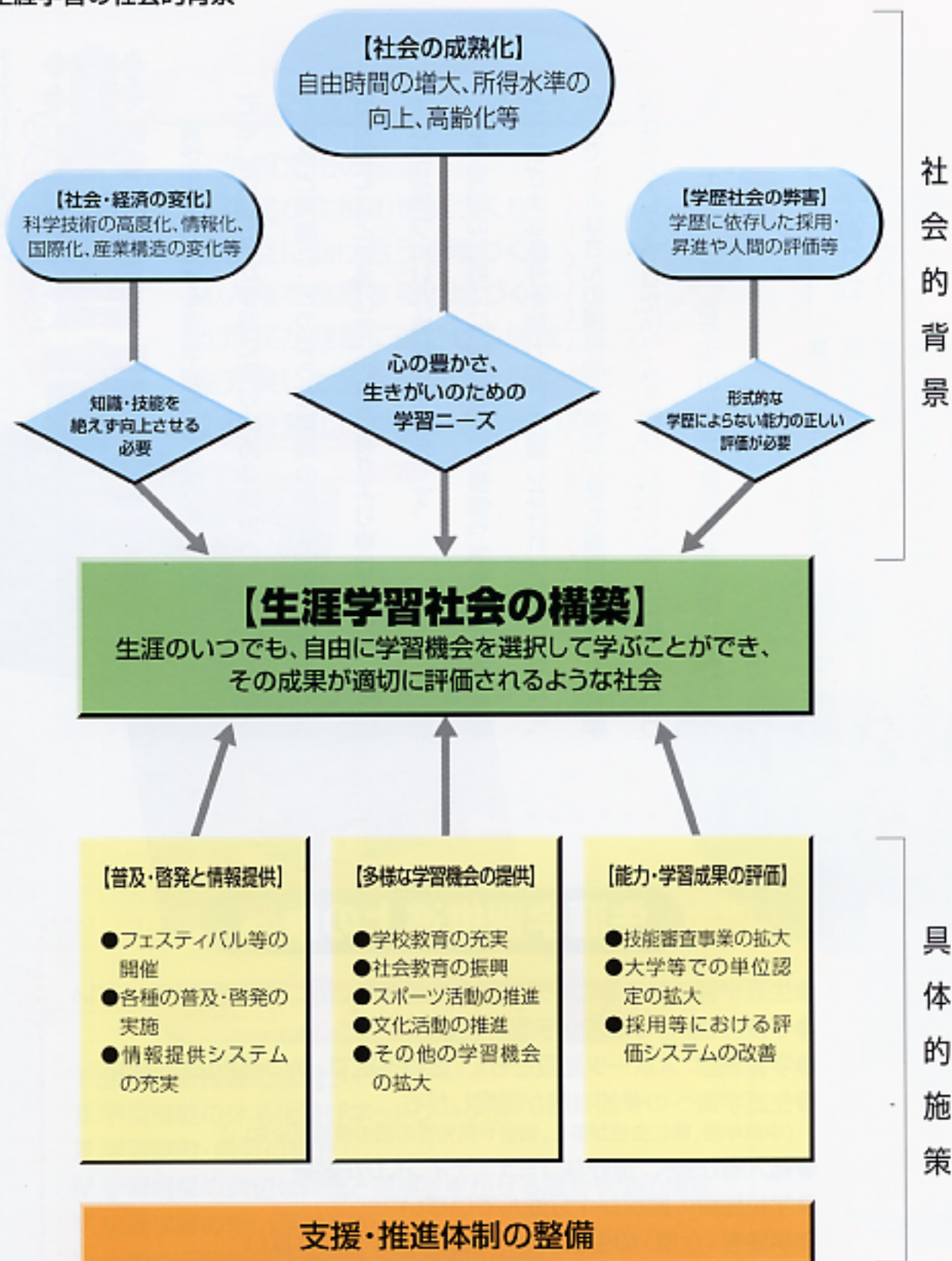
私たちの暮らしやそれを取りまく社会は、大きく急速なスピードで変わっています。たとえば生活水準の向上や余暇時間の増加による個々人の価値観の多様化、国際化、情報化の急速な進展、少子・高齢社会への移行、環境問題の深刻化などがそうです。

私たちはこうした変化の中で、さまざまな課題に積極的に対応し、自立的に生き、社会とより良く関わっていける力を習得し磨きつづけることが必要になってきました。

学んだことを生かすことができれば、それはかけがえのない大きな喜びとなります。このようなことを実現するために「生涯学習」が必要なのです。



生涯学習の社会的背景



(文部省「平成10年度 教育白書」をもとに作成)

生涯学習で目指す社会の目標

- ①地域文化の創造
- ②市民が主役の地域づくり
- ③相互に助け合う地域づくり
- ④人権を尊重する地域づくり
- ⑤市民が健康に過ごせる地域づくり
- ⑥充実した余暇を過ごせる地域づくり
- ⑦社会変化に対応する地域づくり



テーマ

新たな発見 ゆたかな心

生涯学習推進施策

- I.生涯学習推進の体制づくり
- II.学習機能の体系化及びネットワーク化
- III.学習施設・機会の拡充
- IV.学習成果の適切な評価と成果を生かせる機会や場の確保
- V.生涯学習の担い手づくり
- VI.市民の行政参画の推進と行政情報の公開
- VII.文化振興・イベントの推進

生涯学習社会 実現のための 基本的視点

- 市民の主体性の尊重
- 生涯学習概念の市民への浸透
- 学習機会の均等の確保
- 学習活動の継続発展ニーズへの対応
- 人生の各段階に応じた学習課題への対応

わたしたちは、
楽習市民です。

香芝市が目指す生涯学習社会とは、市民がいつでもどこでも、だれでもが学習に取り組める環境の整備された社会であると同時に、そのような環境の中で市民が生涯学習に取り組むことを通じて、市民自身がより幸せとなり、また健康で楽しい地域づくりが実現する社会です。

この実現のためには、学習施設の整備や学習機会の充実などさまざまな条件を精力的に克服しなければなりません。なかでもみなさんの積極的な参加が最も重要です。おなじ学ばなら楽しくやりたい。よく遊び、楽しく学んで生きがいづくりをモットーに、香芝流の生涯学習社会を実現しましょう。

生涯学習推進上の課題

- 生涯学習に対するニーズを持つ市民が多いが、環境が整っていない
- 今後、高齢者の増加が予想される
- 学習施設、スポーツ施設ともに、施設不足で、かつ老朽化が進行
- 生涯学習への参加者層が固定しがち
(中高年層、特に女性が多く、若者や就労者の層の参加が少ない)
- 転入者が多く、良好なコミュニティづくりが必要
- 学校施設の開放が十分進んでいない
- 事業者(企業)の生涯学習への理解が十分ではない
- 行政情報の提供・公開が、これからの時代の要請
- 生涯学習に関する情報提供が十分ではない

1 生涯学習推進の体制づくり

1.生涯学習推進組織の設置

総合的な生涯学習施策を推進するために、庁内各課の人的・物的資源や情報などを生涯学習推進の視点で整備し、市長を本部長とする「生涯学習推進本部（仮称）」を設置します。また、市民の意向を施策に反映させるために「生涯学習推進会議（仮称）」を設置します。

2.職員の資質向上

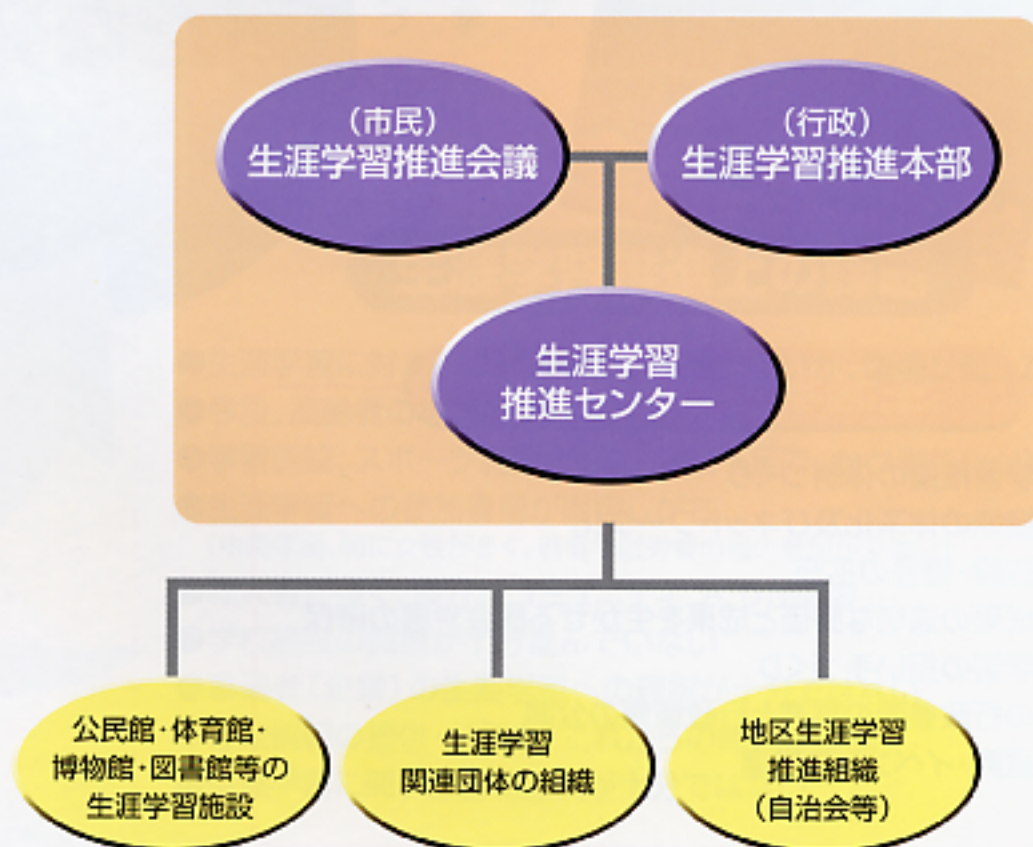
生涯学習の先導役となれるように、職員の資質向上をはかります。

3.企業内生涯学習環境の整備促進

従業員の自己研鑽に対する支援や社会貢献活動への参加に対する理解を促進するため、企業に対する啓発活動を行います。

4.広域行政の推進

国や奈良県をはじめとする各都道府県、周辺市町の機関・施設との情報交換や相互利用などの事業提携、人材の交流をすすめます。





2 学習機能の体系化及びネットワーク化

1. 情報化の推進

パソコンなどの情報機器の操作をはじめ、情報リテラシー（理解力）の確保に向けた学習の機会づくりを推進します。

2. 生涯学習情報システムの確立

必要なときに必要な情報を容易に得ることができる「生涯学習情報システム」の確立を図ります。

3. 情報のデジタル（電子）化

生涯学習機会に関する情報をはじめ図書館、博物館の資料をデータベース化し、インターネットを通じて自宅にいながら情報入手できるようにします。

4. 生涯学習関係施設・機関のネットワーク化

行政や民間の施設、組織や団体などをネットワーク化し、相互の情報交換や学習の体系化など、有機的な連携・協力体制の整備を図ります。

5. 広域情報ネットワーク化の形成

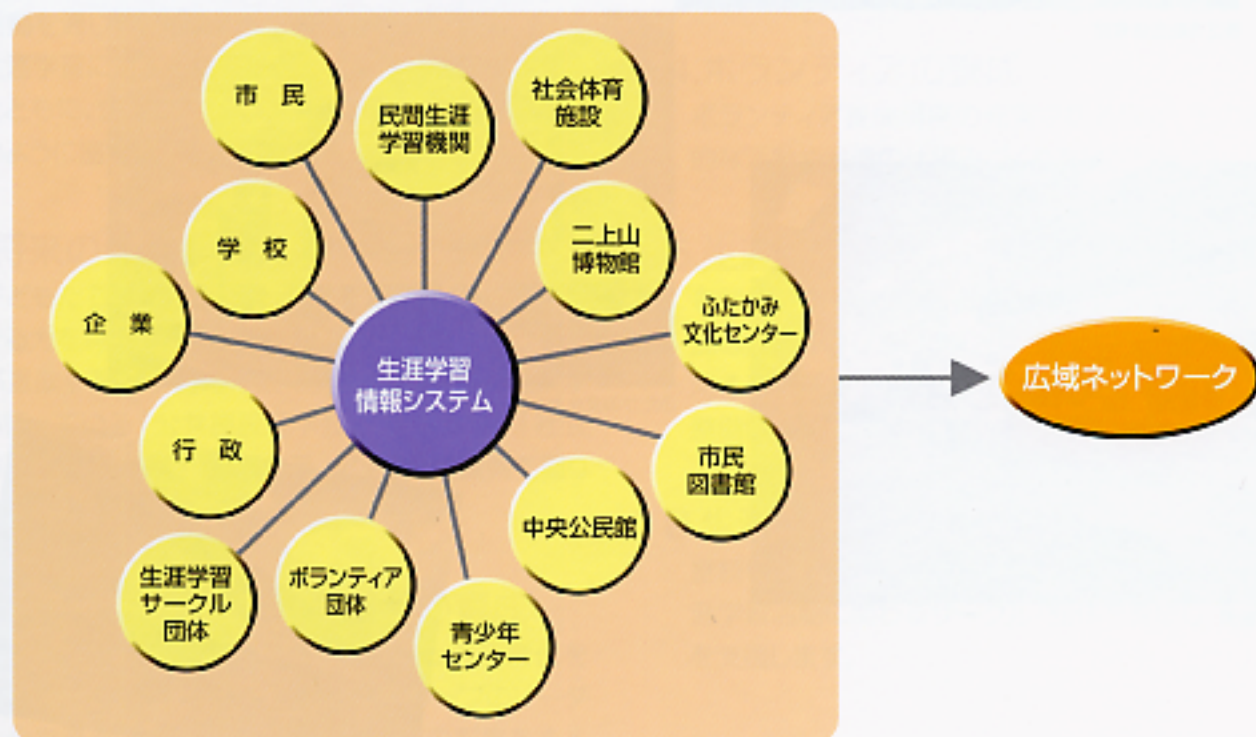
国や県、近隣市町及び民間の施設のネットワーク化を広げ、施設の相互利用や情報交換などができる体制づくりを目指すなど、広域的なネットワーク化を図ります。

6. 生涯学習情報の一元化

行政や民間の各種講座や施設の空き状況など、本市における生涯学習情報を一元化し、簡単に情報を入手できる環境を整備します。

7. 生涯学習の体系化

学習活動へのキッカケづくりから、さらに進んだ学習を目指す人たちへと、学習レベルに応じた学習情報の提供や相談業務など、学習の体系化を図ります。



3 学習施設・機会の充実

1. 学習施設の充実

生涯学習推進の全市的な拠点となる「生涯学習推進センター」の整備を図ります。また、市内の学習施設、コミュニティ施設、民間の学習施設のネットワーク化を進め、それぞれの利便性を高めます。あわせて、地域の特性に応じた生涯学習事業のネットワーク化に努め、身近な地域における学習活動の充実を図ります。



香芝市総合体育館



市民図書館

2. 学習機会の充実

効率的・効果的な学習機会を提供できるように市民のニーズの把握に努めます。また、「広報かしぼ」や「生涯学習情報システム」などをつうじて、講座や教室、各種施設の情報提供を図ります。さらに、「人権問題」「環境問題」「国際化」「情報化」「職業能力向上」「消費生活」「ボランティア活動」「スポーツ・レクリエーション」など、市民の学習ニーズと社会的な課題の適切な把握による学習テーマを充実させます。



香芝市総合プール



ふたたび文化センター



中央公民館

4 学習成果の適切な評価と 成果を生かせる機会や場の確保

1. 学習成果の適切な評価

生涯学習活動で培ったさまざまな能力や知識などの成果を適切に評価し、また発表することにより確認できるよう「認定・表彰制度の創設」「学習歴カルテの創設」などを講じます。



かつらぎふれあい音楽会

2. 成果を生かせる機会や場の確保

文化祭や展示会、演奏会、スポーツ大会など活動成果の発表の場を整備・拡充します。また、生涯学習で培った成果が、ボランティア活動、地域社会の発展などにいかされるよう、活動の場の開発に取り組みます。



香芝市美術展覧会

5 生涯学習の担い手づくり

1. 生涯学習概念の浸透

生涯学習フェスティバルなどのイベントや広報・PR活動を通じて、生涯学習への理解を促します。また、生涯学習に対する情報提供と相談体制を充実させるとともに、企業に対しては生涯学習活動を行いやすいように協力・支援づくりを働きかけます。

2. 将来の生涯学習実践者の基礎づくり

子どもたちが生涯にわたって学びつづけることのできる力を身につけられるように、学校教育における学ぶ意欲や基礎学力の形成に努めます。また、従来から行っている「公共施設見学会」「生活体験」「社会体験」「自然体験」「ボランティア活動」の振興を図ります。

3. 生涯学習リーダー、指導者の育成

生涯学習活動の意識の高揚や取り組みの高度化を図るため、生涯学習に関わる団体・グループのリーダーや指導者の交流をすすめる、人材情報の収集をすす

めます。リーダーや指導者の育成は、国や県の支援制度、評価制度、資金援助などにより実現を図ります。

4. ボランティアの養成

ボランティア養成講座の充実を図るほか、その成果的な活動や派遣の仕組みづくりを検討します。

5. 生涯学習人材バンクの設置

専門的な技術や知識、資格、人脈、ノウハウを持つ市民の登録を呼びかけ、身近なコミュニティの人材を活用するデータベースとして「生涯学習人材バンク」を整備します。

6. 生涯学習サークル・団体の育成、組織化

継続して学習活動に取りくむことができるように、生涯学習活動に関わるサークル・団体を育成し、組織化を支援します。

6 市民の行政参画の推進と 行政情報の公開

1.市民参加の推進

市民が主体的に生涯学習活動を進めるために、各種講座のプログラム開発、イベントの企画、講師招へいなど市民サイドで実施・運営できるように推進します。

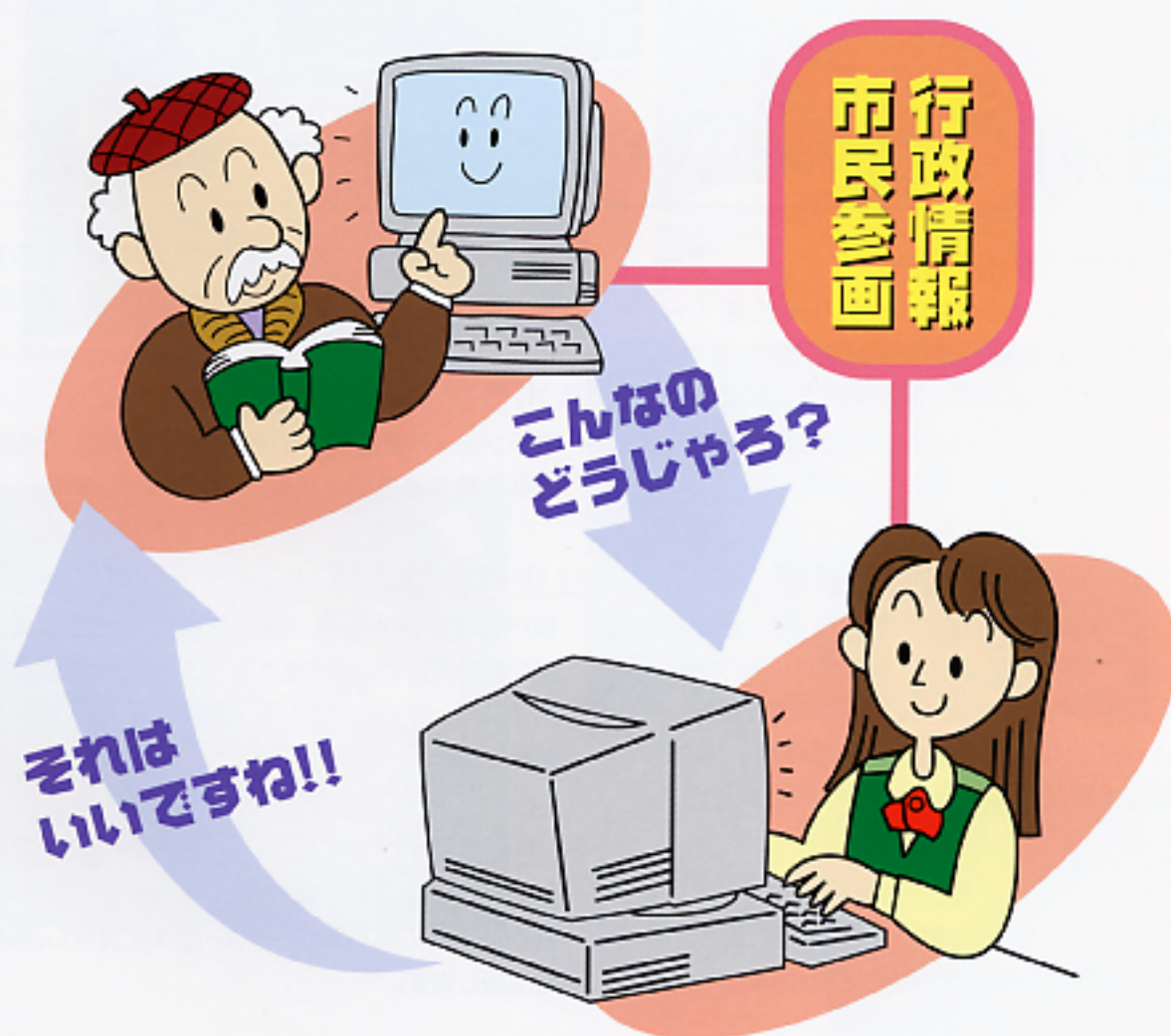
2.市民の意見の反映

市民の生涯学習に対する意見や要求を把握するシステムを構築し、施策に反映させていきます。

3.行政情報の公開

市民の行政参画を推進し、また市民が市政に対する意見を形成するためには、情報公開をすすめ、一層開かれた行政となることが不可欠です。

そのため、平成13年4月から施行される本市の情報公開条例に基づき、市民に公文書をはじめとするさまざまな行政情報を公開し、市民の市政に対する理解と信頼を深めていきます。この他、議会情報、各種手続き案内、施設案内なども充実させていきます。





7 文化振興・イベントの推進

1. 市民への啓発・広報活動

文化のまちづくりをすすめるために、具体的な事業や関連活動について積極的に情報を提供し、啓発していきます。

2. 市民参画型の文化イベントの企画・実施

文化のまちとしてのアイデンティティを高めるために、市民参加型の文化イベントの企画・実施を推進します。

3. 多彩な文化活動の推進

さまざまな文化、優れた芸術に触れ親しむ機会の充実に努めます。また、文化活動の先導者に支援を図ります。

4. 香芝市を石器文化研究の拠点に

二上山博物館は、全国的にも珍しい「石」の博物館として知られ、本市の文化的なシンボルとなっています。そこで、石器文化研究の情報・学習の全国的拠点の一つとして位置づけ、各種の施策をすすめていきます。



生涯学習の啓発活動の一環として催される「生涯学習まなびのつどい」



ふれあいフェスタ



島のぼり



二上山から産出された石の器々を展示(二上山博物館)